

総務部総務課長  
兵頭 章夫 様

生活福祉部  
健康づくり推進課長 大野本 敦

会 議 要 録

名 称	令和4年度 第1回 西予市自殺対策推進協議会	
開 催 日 時	令和4年11月9日(水) 15:30~17:00	
開 催 場 所	西予市教育保健センター4階 大ホール	
出席者	自殺対策推進協議会委員	会長 宗正弘 委員 竹内豊、松多克紀、賀原浩文、吉良光司、橋本千代子、毛利光博、福元温子、西山佳樹、高石徳香、河野秀雄、幸田裕司、山岡薫彦 計13名
	その他	八幡浜保健所 河野紗季
	事務局	部長：一井 健二 大野本敦、井上理恵、宇都宮弥生、佐尾亜希穂
議事内容(要旨)	1. 開会(司会：健康づくり推進課井上課長補佐) 2. 開会あいさつ(部長 一井 健二) 3. 自己紹介 4. 委嘱状交付 5. 会長・副会長の選任 会長：宗 正弘 副会長：織田 英昭 6. 会長あいさつ 7. 議事 議事(議事進行：会長 宗) ①西予市自殺対策計画の進捗評価、令和4年度計画について 事務局より報告 パワポにて説明 資料1：宇都宮 資料2・3・4：佐尾	

**【西予市校長会】**

野村小学校で職員全体研修を4月、8月に実施。9月に児童・保護者に「こころの健康教育」を実施。11月に「SOSの出し方教育」を実施。西予市は学校規模、状況等違うのでモデル授業の媒体を各学校でふさわしい形で生かしてもらいたい。

**【八幡浜保健所】**

児童生徒のSOSの出し方と受け止め方について教育未実施の市町もある。今後は管内に広げていきたい。

研修会や会議において県や教育の関係者に対して先進地の取り組みの必要性を周知している。1月に研修会を開催して西予市のモデル事業を紹介したい。

**【西予市養護部会】**

養護部会としてグループ研究として取り組んだ。

R3. 10月に実態把握として小学校5・6年生、中学校全生徒と教職員にアンケートを行い、1月に結果と考察を各学校で報告した。

教職員向けの校内研修ができる資料の作成、相談機関の一覧表を作成し配布した。

各学校でより使える形にパッケージ化して使ってもらえるようにしている。

**【委員】**

学校で自殺ということに関して扱ってもらっていることはありがたい。全国的にも若年者の自殺が増えたので学校でも気にしてもらっているとは思う。今回の取り組みの成果が、この子らの将来にわたっていい影響を及ぼすのではないかと思っている。

**②関係機関の現状報告**

**【八幡浜保健所】**

コロナの影響で男性は国、県とも横ばい、女性は増えている状況。西予市は人数が少ないので傾向には出ないが、関心を持って事業をすすめていきたい。啓発事業、一般的な相談事業、自殺未遂者支援事業等を継続してやっている。民生委員対象のひきこもり研修会も実施事業にあるので市町と連携してやりたい。

**【医療関係】**

自殺で亡くなった方の家族がうつ状態になって受診するというケースも結構ある。全体的に数字を把握するということも大事

だが、一人が亡くなると周辺に何十人ものストレス要因が発生し大きな影響が出てくる。

#### 【西予市校長会】

先生達の「こころの健康」のため、業務改善を学校で取り組んでいる。児童に関しては、複雑な家庭環境など困難をかかえている児童が増えていると感じている。関係機関と連携していきたい。

#### 【西予PTA連合会】

生涯学習課所管の事業で3年ぶりに「第20回人権を考えるつどい」、「令和4年度西予市PTA大会」を対面で実施することになった。パンフレットで啓発も実施していく。会員向けには人権のつどいへの参加、人権参観日への参加を促す。

#### 【西予市養護部会】

普段生徒と関わってきて思うことはコミュニケーションをとれない子、自分の言いたいことが言えない子供がとても増えている。そういうところが少しでも解消できるように、講演会や授業などを開くことで良い結果が出れば良いと思う。

#### 【西予警察】

警察相談がある。直接ご本人から相談があった場合、警察に何を望んでいるのか、なぜ警察に来たのか、よく聞くことが大切だと思う。一人で帰すことはできない場合は、説得した上で家族に連絡をして一人にさせないようにすることが大切だと思う。

#### 【法テラス愛媛】

電話や窓口で相談を伺い、弁護士や司法書士の法律相談の予約につないだり、一般的な制度の説明をしている。本人が相談に行くまでがハードルが高いため関係機関の方に相談予約、弁護士につなぐところを一緒にやっていただくような広報活動もしている。関係機関からの問い合わせに関しては法律相談という枠ではなく弁護士による情報提供「ホットライン」等で必要なサービスにつなぐ取り組みをしている。引き続き他職種と連携をしていきたい。

**【ハローワーク】**

雇用失業情勢について第7波の影響で新規求職者がかなり減っている。求人は全体的に外出の機会が増え幅広い産業でコロナ以前から続いている人手不足を背景に高い水準で推移している。金銭面で日常生活の維持が困難になっている世帯からの相談には社会福祉協議会の相互支援金特例貸付、新型コロナウイルス感染症生活困難者自立支援金の案内をしている。相談があれば窓口をすすめている。今後関係機関との連携をとりながら就職支援をしていきたい。

**【西予市商工会】**

自殺者防止対策につながるようなセミナーを今後事業者さん対象に増やしていくことが大事。健康づくり推進課、他の課とも連携して防止につながるセミナーを実施していきたい。

**【ねっと Work ジョイ】**

南予地域の就労支援ネットワークということで、障がい者就労だけでなく、生活困窮ほか、多岐にわたった就労支援体制をとっている。今年度に入ってダイバーシティ就労「共生」の流れが出てきている。

**【西予市民生児童委員協議会】**

コロナ感染が拡大する中で、活動ができない。しかし、そのような中でも社協と連携しながら寄り添う、見守り、つなぐを基本に活動している。コロナがもう少し落ち着けば関係機関と共有連携して取り組んでいきたい。

**【西予市社会福祉協議会】**

法律相談、心配ごと相談等を実施している。地域包括支援センターが、総合的な窓口として機能が果たせるように体制をとっていききたい。コロナの関係で経済的な支援が必要である家庭が増えている。生活の支援、相談の活動ができる体制をとっていききたい。生活福祉金の償還が難しい状況が想定されるが支援相談の体制をとりたい。認知症の高齢者法人後見事業について相談体制を取り関係機関と連携をとりたい。

**【一般社団法人愛媛県ネットワーク協会】**

個別での相談者が増えてきている。  
窓口があっても行かないので、今後どうつないでいくかが大事。

	医療機関、行政との連携が大切となる。  8. 閉会（宗会長）
備 考	

年度 2018年度～

カテゴリ 行政一般

審議会名 西予市自殺対策推進協議会

公開開始日

審議会の概要

西予市自殺対策推進協議会は、自殺対策基本法に基づき、関係機関及び団体等が連携し、総合的かつ効果的な自殺対策の推進を図るため、設置されている。西予市社会福祉協議会会長を会長、西予市医師会長を副会長とし、愛媛県八幡浜保健所をはじめとする計14名をもって構成する。会議は会長が招集し、自殺対策推進に関する事項について協議する。